

## 私を変えた失敗

ヴァヴジェシュケヴィチ・クラウディア

皆さんは、失敗したことがありますか？だったら、その時の感情を覚えていますか？後悔とか、恥ずかしさを感じる人が多いと思います。しかし、失敗は、私達の人生を変える可能性もあります。私の場合、そうでした。本日、その私を変えた失敗について話したいと思います。

私はいつも成功を求めるタイプでした。細かい失敗も恐れ、頑張りすぎてしまう傾向がありました。ポーランドで藝術大学に入学し、そこでは版画、イーゼル・ペインティング、デジタルアートなど、手の力を使わないといけない科目がたくさんありました。もちろん、その全ての科目より選んだ専門を果たすべきでしたが、そのすべてを極めたかった。徹夜もしたし、食事もちゃんととらず、完璧に仕上がるまでひたすら課題をこなしました。

それが、不可能になるその日まで。三年生の時に、利き手の右手首がすごく痛くなりました。診断は靭帯の重傷で、長いリハビリのために私は大学を休学しなければならず、卒業制作の短編アニメーションを完成させることができませんでした。失敗を防ごうとするあまり、私はこれまでに最大の失敗を犯してしまいました。

私は自分の人生を見直さなければなりませんでした。手を使わない仕事を目指して、逐次通訳になろうと思い、日本学科に入学しました。しかし、どんなリハビリをしても手首の状態は良くなりませんでした。しばらくは、この状況を受け入れるのが心理的にとても辛かったです。

しかし、絵を描くことは大変好きだったので、少しでもやろうとしました。この時、人生で初めて、自分にとって最も重要なことを優先する大切さを学びました。

結局、アニメーション学科も日本学科も卒業しました。その二つの選考を好きになり、それらのつながりを作ろうとして、東京藝術大学でのアニメーション研究に申し込みました。それは、成功でした。自分を許せない失敗をしたことで、私は知らないうちに新しい道を見つけました。手首はまだ痛みますが、今は幸せでアニメーション研究を楽しみにしています。

失敗は、ただの経験に過ぎないと思います。失敗は教訓であり、失敗は何かを変え、違うことをするチャンスです。皆さん、自分の失敗を受け止めてください。なぜなら失敗には私たちを変える力があるのですから。以上です。